

「幌西地区福祉のまちづくり」 住民アンケート調査 結果報告

平成18年12月
幌西地区福祉のまち推進センター

1. 調査の目的

この調査は、札幌市中央区幌西地区の住民の福祉ニーズの把握と住民同士の助け合いを広げることを目的とした。なお、福祉のまち推進センターを中心に、中央区、社会福祉協議会、幌西地区まちづくりセンター、町内会などと協力して実施した。

2. 調査の方法

(1) 調査対象地区	中央区幌西地区の3地区
	・旭山公園通・弥久茂町内会
	・7分区町内会
	・15分区町内会
(2) 調査対象	対象地区の全世帯(広報さっぽろの配布世帯)
(3) 配布数	2665
(4) 調査方法	各戸に配布、回収は返信用封筒による郵送
(5) 調査期間	平成18年10月2日~10月18日

3. 回収結果

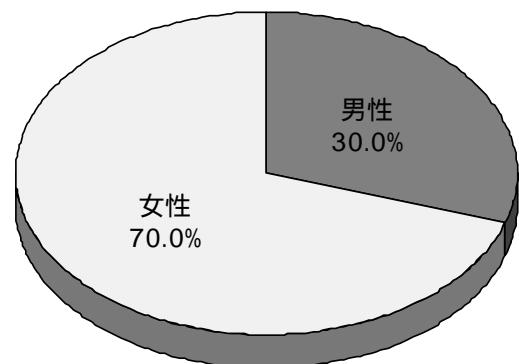
	配布数	回収数	回収率
調査対象地区全体	2665	836	31.4
・旭山公園通・弥久茂町内会	940	265	28.2
・7分区町内会	665	202	30.4
・15分区町内会	1060	369	34.8

4. 図表のみかた

- ・グラフは調査対象地区全体の調査結果(数字は%)
- ・nは各質問に対する回答数

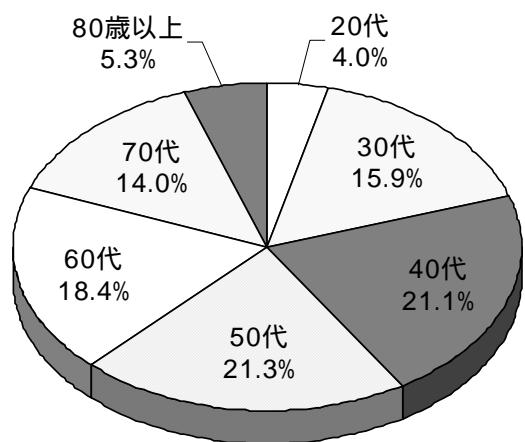
あなたご自身のことについてお聞きします。1つだけお選びください。

性別



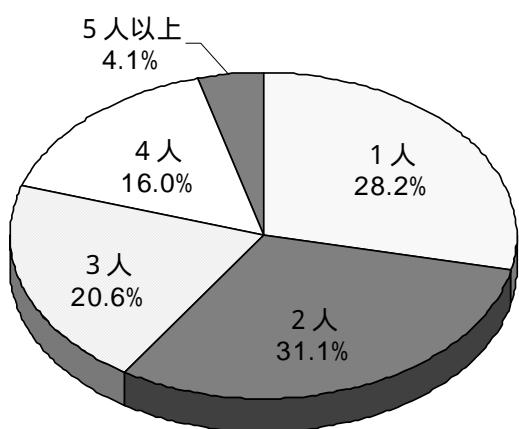
n=828

年代



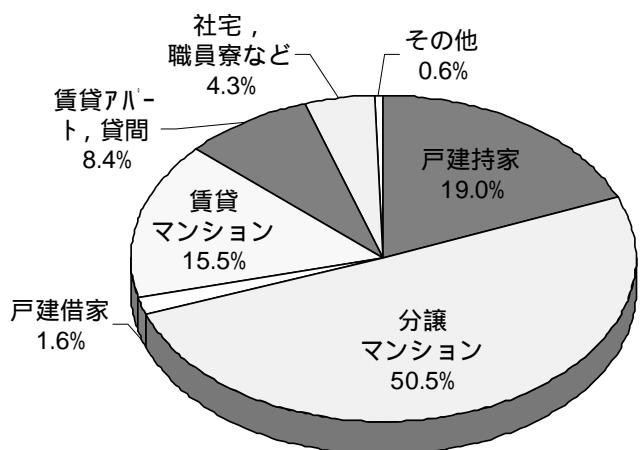
n=830

同居家族の人数



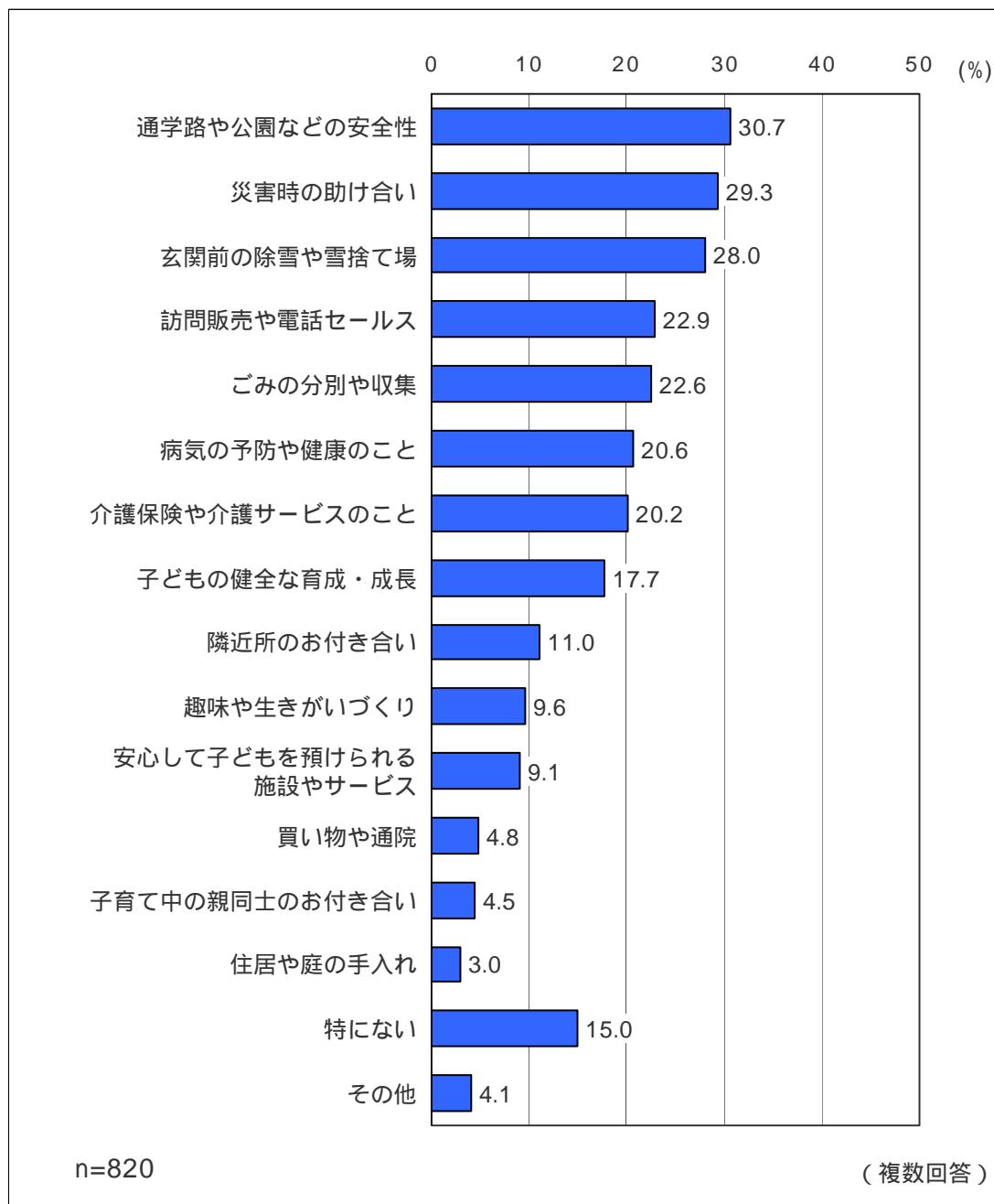
n=826

住居形態



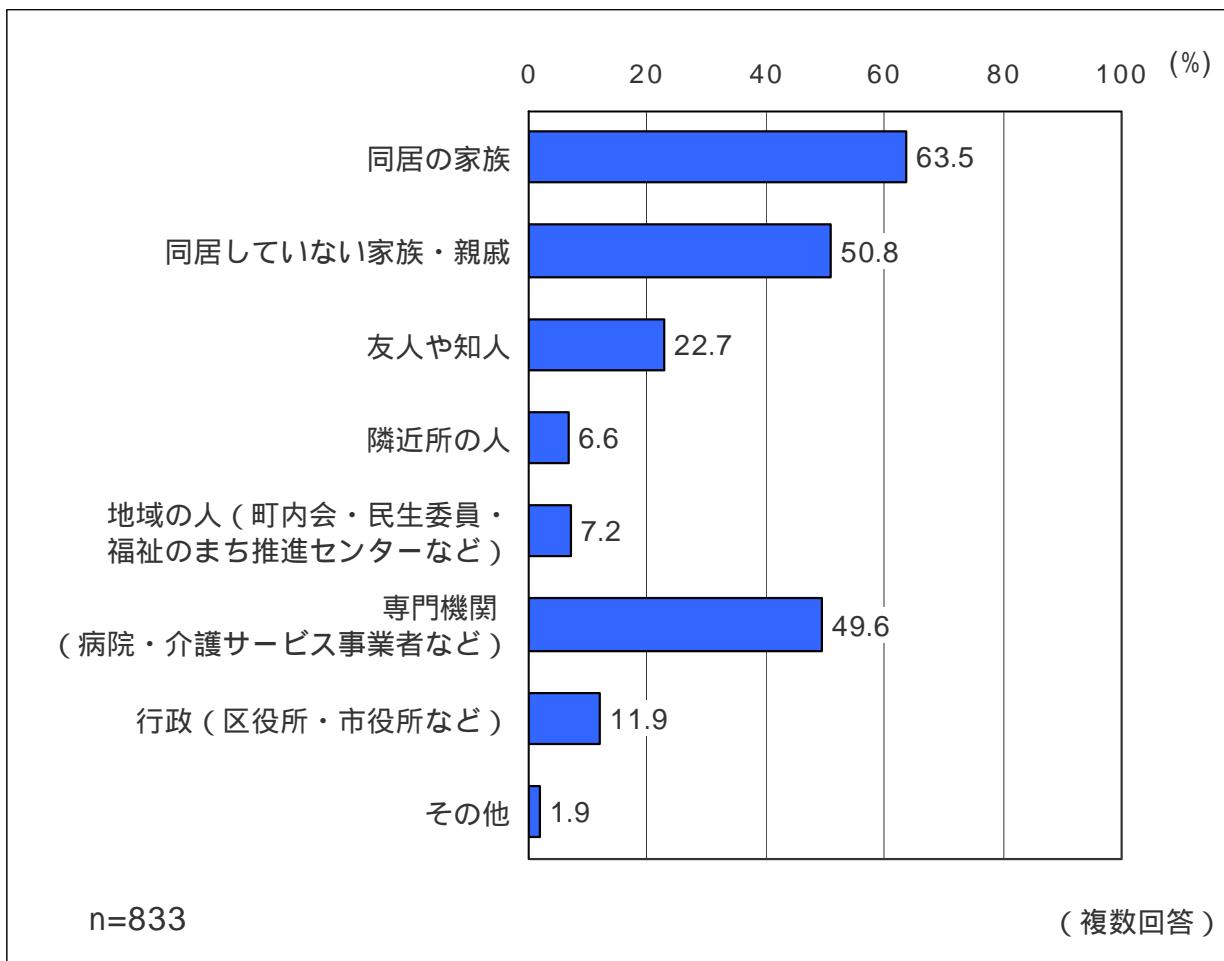
n=830

問1 あなたが、幌西地区で暮らしていて、日頃心配していることや困っていることは、どのようなことですか。
(いくつでも)



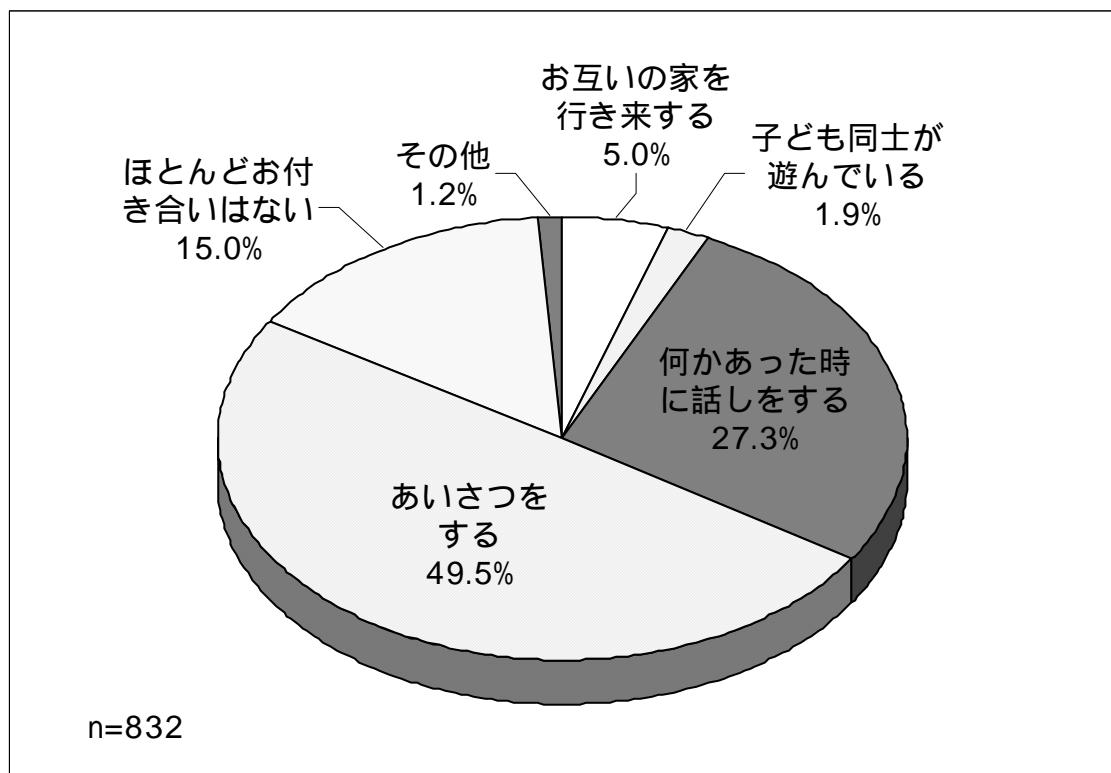
- 年代別に見ると、30～40代は「子育て」に関する項目が上位を占めました。年代が上がるにつれて、「介護保険や介護サービス」「病気の予防や健康」が上位を占めましたが、80歳以上では「訪問販売や電話セールス」が第一位でした。
- 住居形態別に見ると、戸建住まいでは、「玄関前の除雪や雪捨て場」が第一位(6割)でした。また、「病気の予防や健康」「介護保険や介護サービス」について心配している割合は、戸建住まいよりマンション住まいのほうが高いことがわかりました。

問2 あなたは、病気やけがなどで、自宅での日常的な助けが必要となった場合、だれを頼りにしますか。
(3つまで)



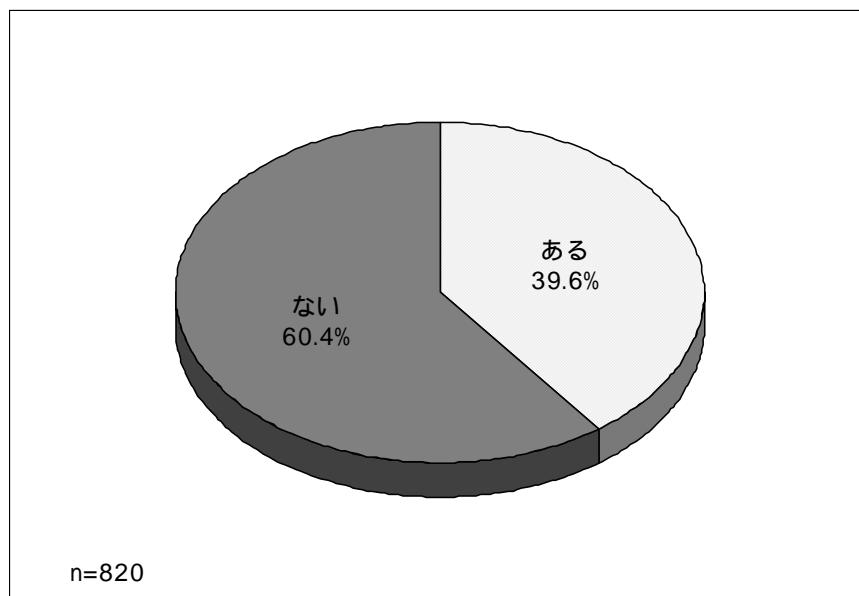
- 男女別に見ると、女性は男性に比べ、「友人や知人」に頼る割合が高いことがわかりました。また、「隣近所の人」「地域の人」に頼るのは、女性より男性のほうが多いことがわかりました。
- 年代別に見ると、60代より上の年代は「専門機関」が第一位となり、また、ほかの年代に比べて、「隣近所の人」「地域の人」に頼る割合が高くなっています。また、「友人や知人」に頼る傾向は、年代が上がるにつれて低くなっています。

問3 隣近所とは、どのようなお付き合いをしていますか。1つだけお選びください。

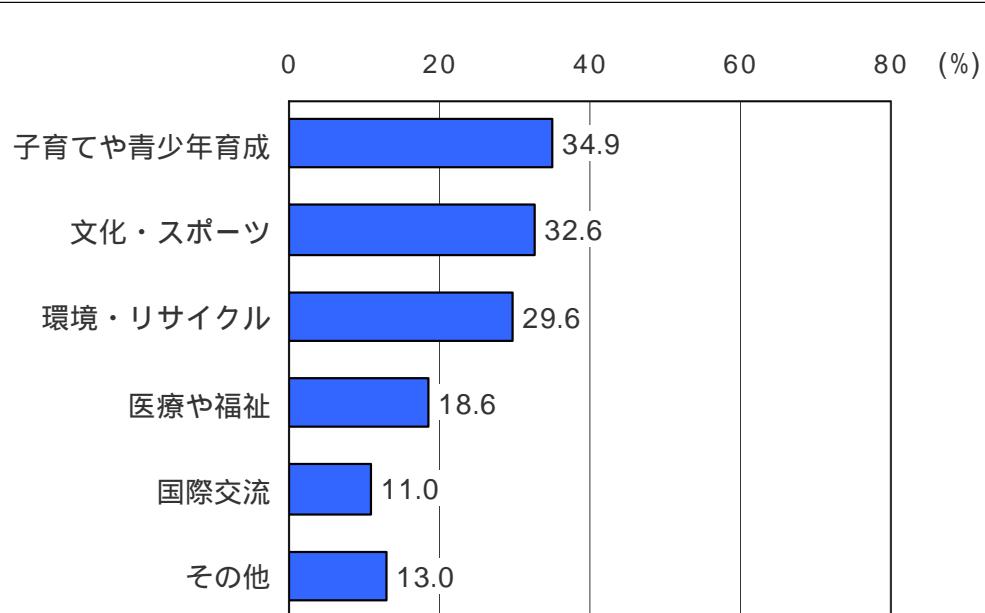


- 年代別に見ると、年代が上がるにつれて(50代を除く)、「お互いの家を行き来する」割合が増え、80歳以上では16%を超えました。
- 住居形態別に見ると、「ほとんどお付き合いはない」は戸建住まいでは3%ですが、マンション・アパート・社宅住まいでは15~25%と高い割合を占めました。
- 年代別・同居人数別に見ると、60代より上の年代では、一人暮らしのほうが近隣との関わりを持っていることがわかりました。

問4 これまでに、ボランティアや地域活動に参加したことがありますか。



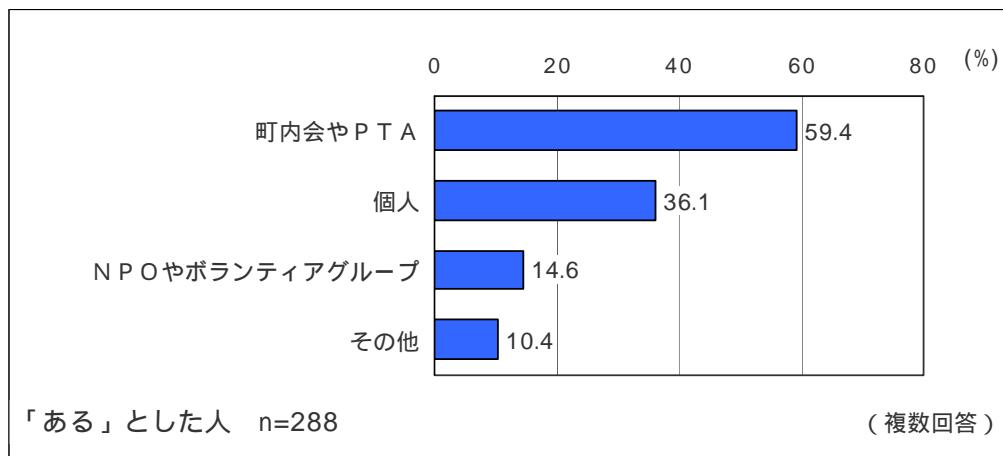
問4s1 ボランティアや地域活動に参加したことが「ある」とした人について、どのような分野ですか。（いくつでも）



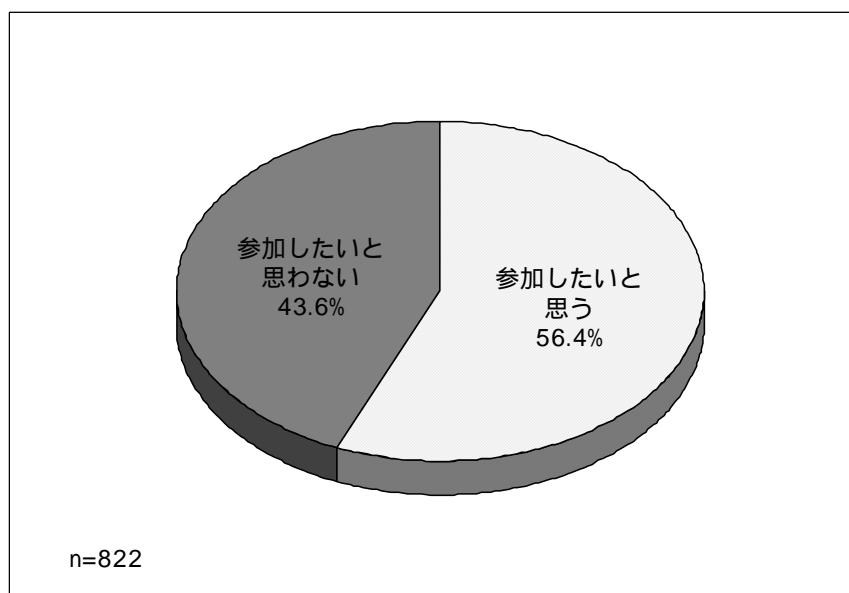
「ある」とした人 n=301

(複数回答)

問4s2 ボランティアや地域活動に参加したことが「ある」とした人について、どのような立場で参加しましたか。（いくつでも）

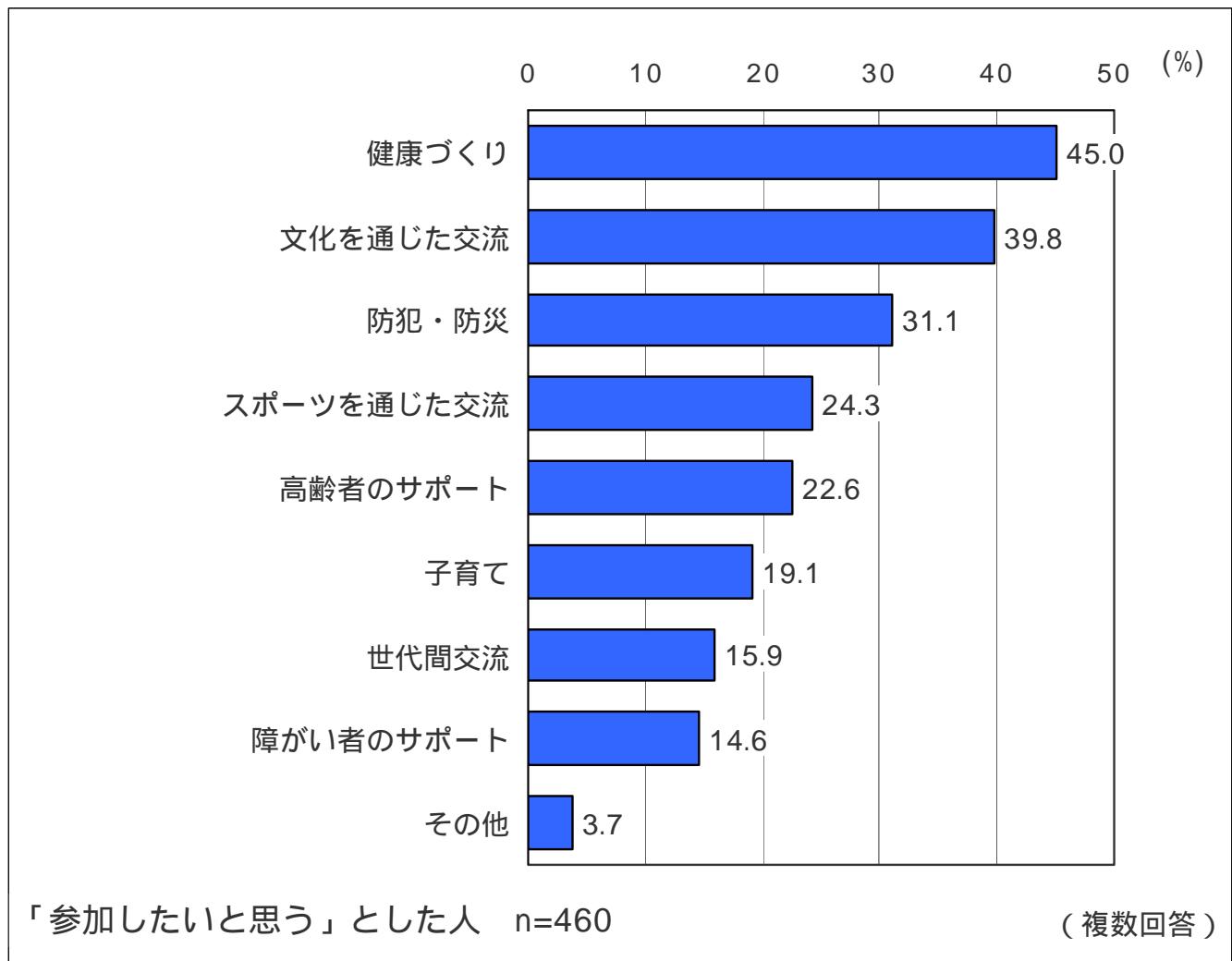


問5 幌西地区でのボランティアや地域の交流に参加したいと思いますか。



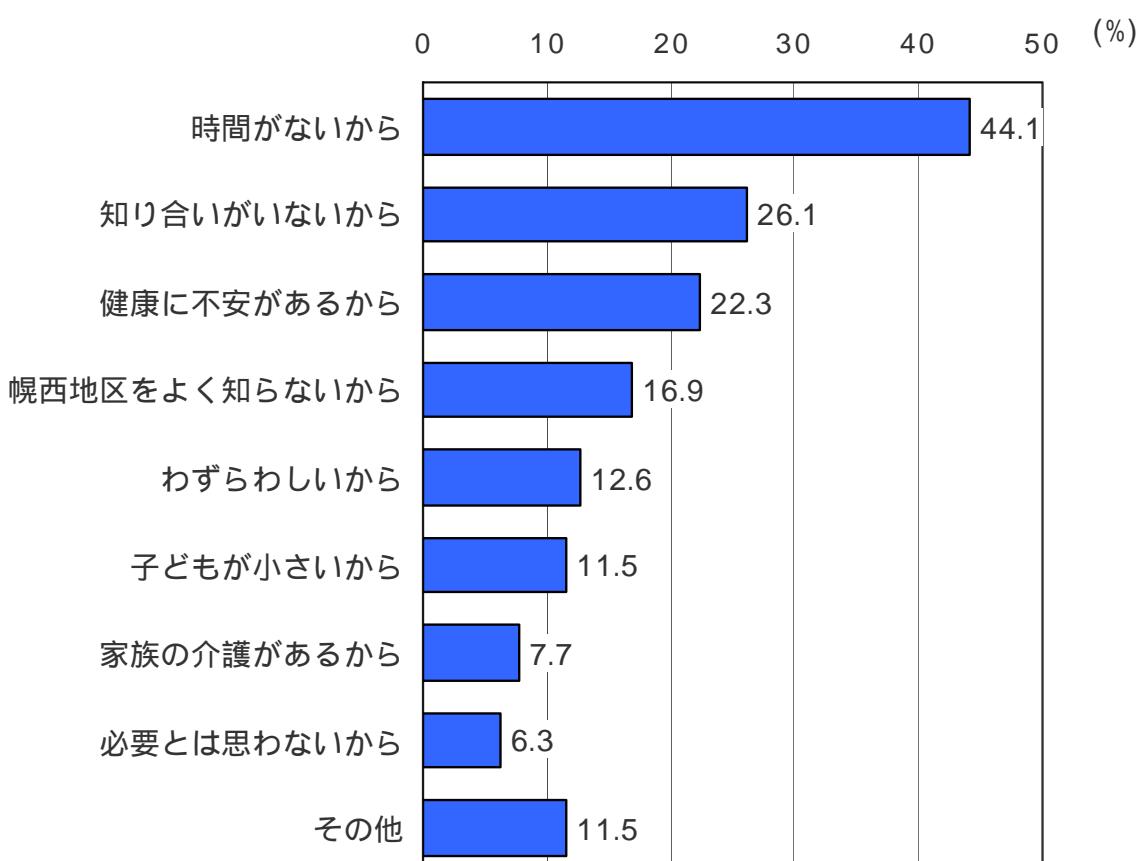
- 男女別に見ると、「参加したいと思う」人の割合は女性のほうがやや多い結果となりました。
- 年代別に見ると、「参加したいと思う」が一番高かったのは60代でした(7割)。
- 年代別・同居人数別に見ると、60代より上の年代では一人暮らしのほうが、参加意向が強いことがわかりました。

問 5 s1 幌西地区でのボランティアや地域の交流に「参加したいと思う」とした人について、どのような分野ですか。（いくつでも）



- 年代別では、20代～40代は「子育て」の分野に参加したい人が多く、80歳以上では「高齢者のサポート」の分野に参加したい人が多いという結果でした。
- 住居形態別に見ると、「子育て」の分野に参加したい人はマンション住まいが戸建住まいよりも多く、「高齢者のサポート」を希望する人は戸建住まいがマンション住まいよりも多いことがわかりました。

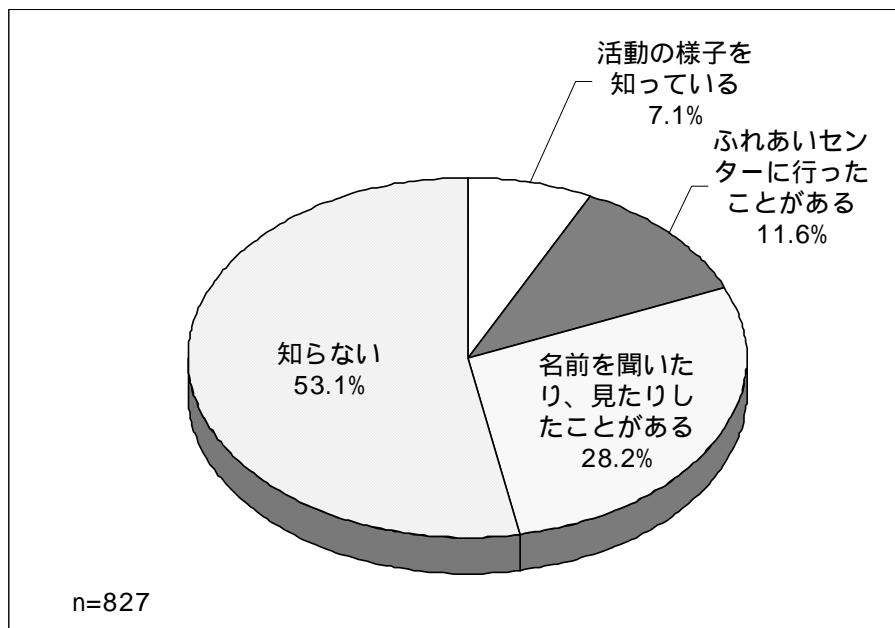
問5s2 幌西地区でのボランティアや地域の交流に「参加したいと思わない」とした人について、どのような理由からですか。（いくつでも）



「参加したいと思わない」とした人 n=349

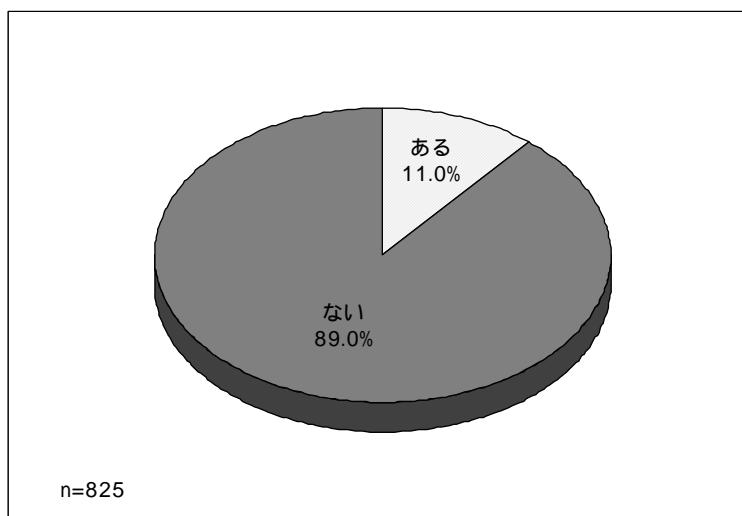
(複数回答)

問6 島根県邑智郡邑南町のまち推進センター（ふれあいセンター）では、地域での支え合い活動を進めていくために、地域のボランティアが様々な活動を行っています。ふれあいセンターを知っていますか。1つだけお選びください。

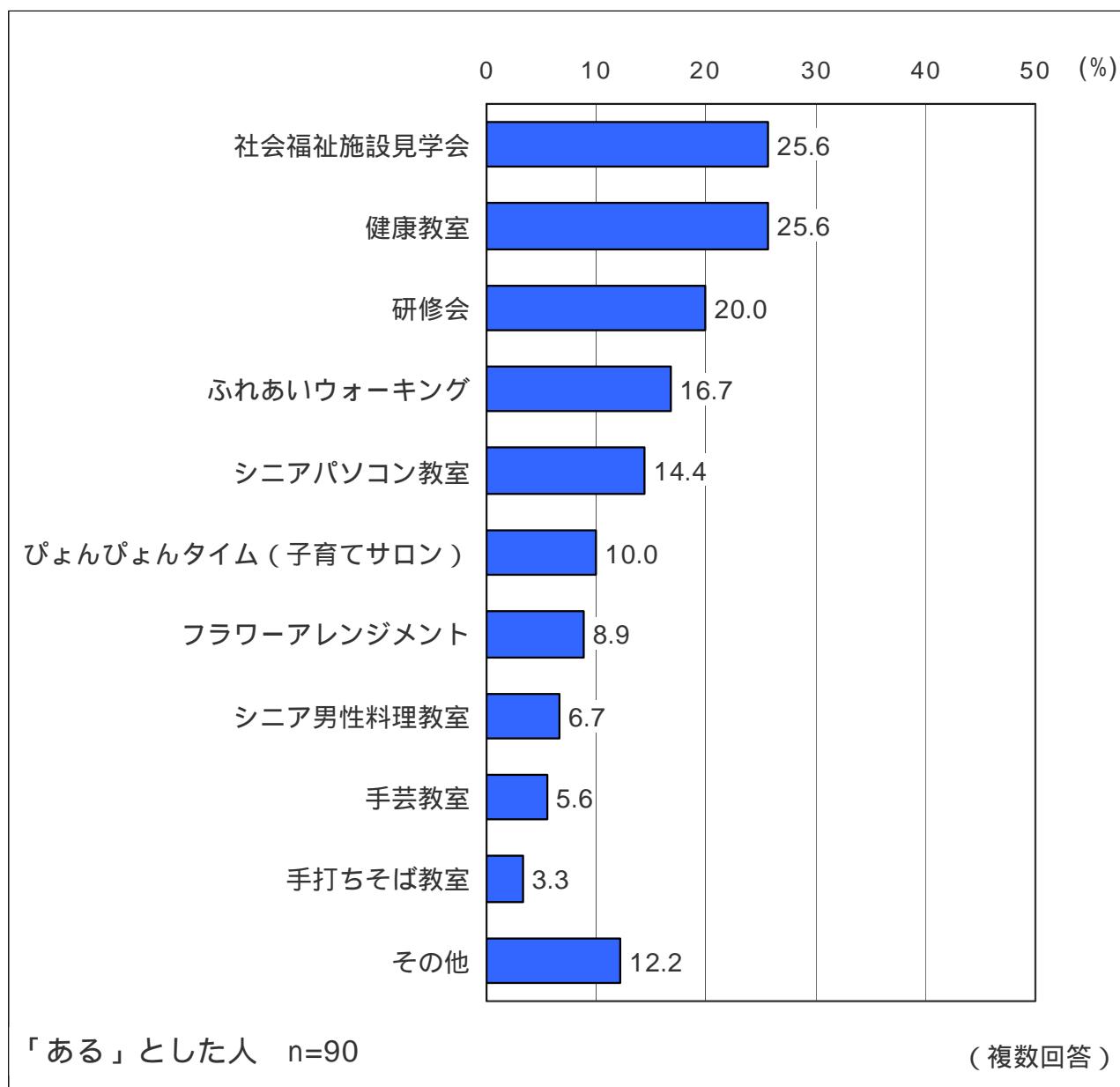


- 年代別に見ると、若い人ほど「知らない」割合が高いことがわかりました。
- 住居形態別に見ると、「知らない」と答えた人は、戸建住まいでは3割弱ですが、マンションやアパート住まいでは6割を占めました。

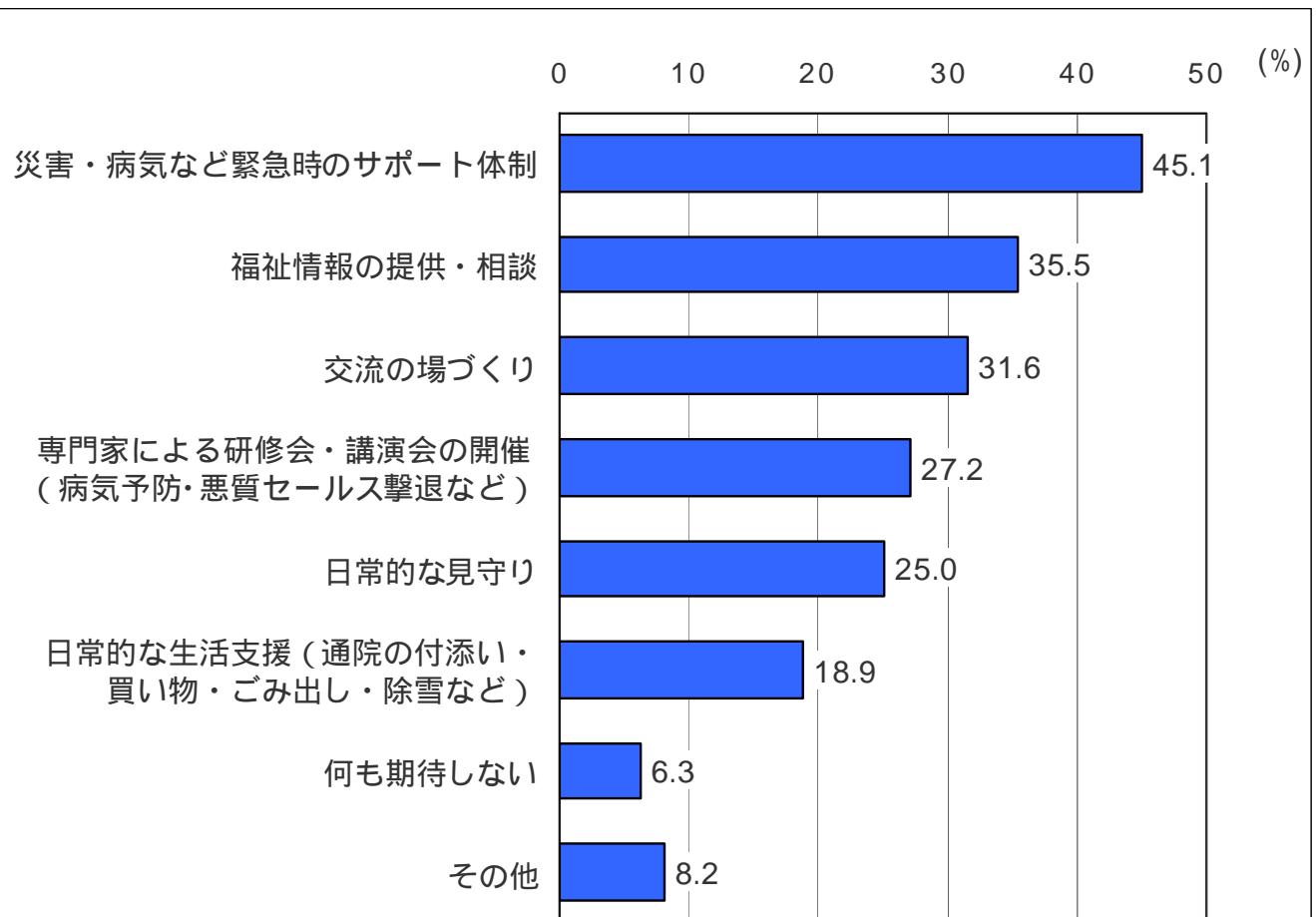
問7 ふれあいセンターの行事に参加したことがありますか。



問7s1 ふれあいセンターの行事に参加したことが「ある」とした人について、どのような行事ですか。（いくつでも）



問8 あなたは、今後、ふれあいセンターにどのようなことを期待しますか。
(いくつでも)



- 年代別に見ると、20代・30代は、「交流の場づくり」「災害・病気など緊急時のサポート体制」「日常的な見守り」が上位3位までを占めます。60代より上の年代では、年代が上がるにつれて、「交流の場づくり」が低くなる一方で、「日常的な見守り」が高くなります。また、年代が上がっても「日常的な生活支援」はさほど変わらず、下位です。
- 住居形態別に見ると、「災害・病気など緊急時のサポート体制」はマンション住まいが高く、「日常的な生活支援」は戸建住まいが高くなっています。また、社宅・社員寮住まいは、「交流の場づくり」が第一位になっています。